

**特集1 創大・創価女子短大卒業生の底力 こんなところに創大生！**  
全国・世界に広がる卒業生のネットワーク

Feature 1 : Soka University and Soka Women's College – Alumni's Potential  
This is where Soka graduates live!  
Soka's alumni network spans from Japan to the world.

96

創価大学ニュース  
2018  
Winter

# SUN

Soka Univ. News



**特集2 卒業生が繋ぐ思い 創大生・創価女子短大生を支える力**

Feature 2 : Connections of Soka Alumni  
Supporting Soka University and Soka Women's College Students.

**特集3 創大名所マップにアクセスしてみませんか**

Feature 3 : Did you know about the Soka Sightseeing Map?

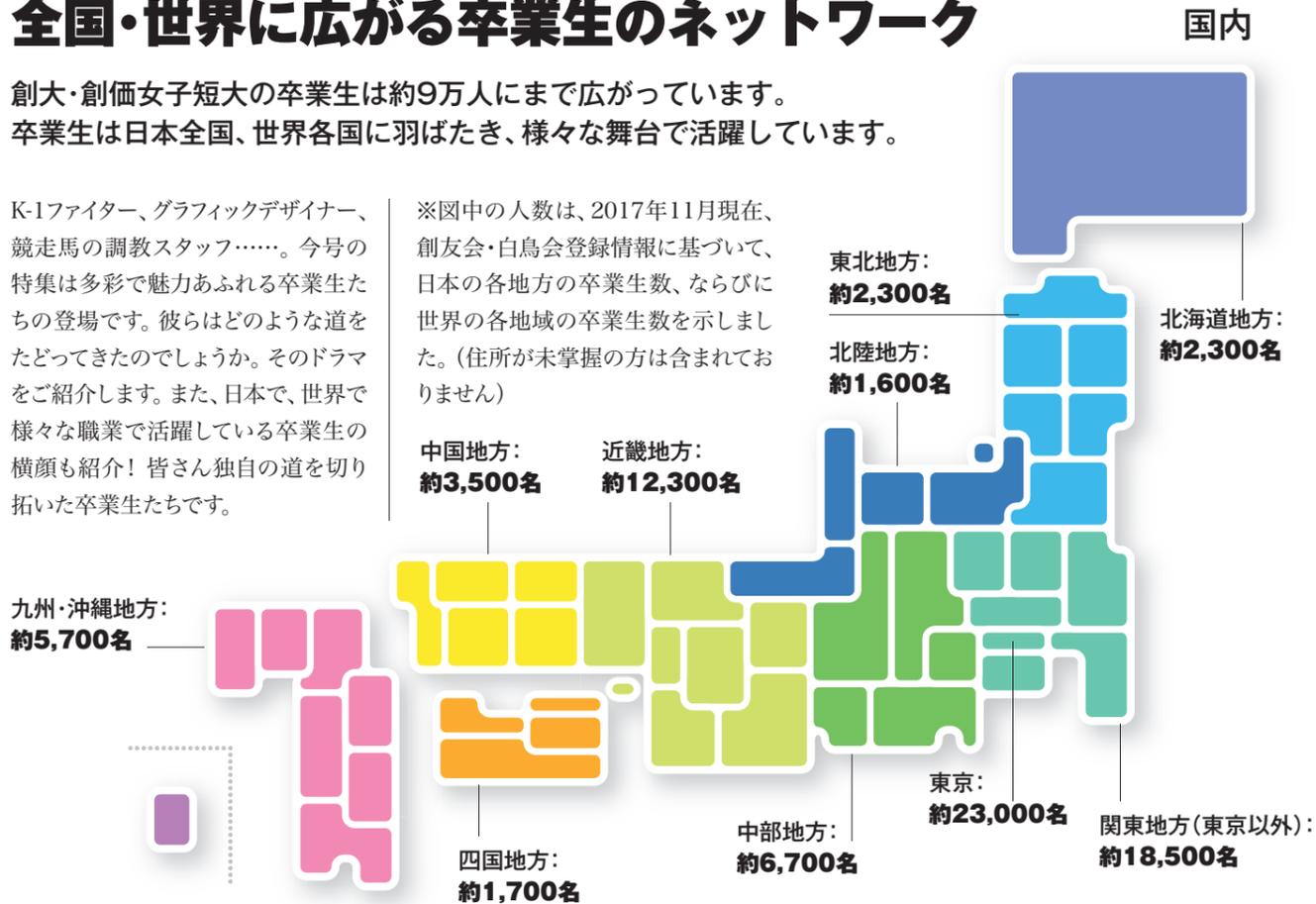
[特集1] 創大・創価女子短大卒業生の底力

# こんなところに創大生！ 全国・世界に広がる卒業生のネットワーク

創大・創価女子短大の卒業生は約9万人にまで広がっています。  
卒業生は日本全国、世界各国に羽ばたき、様々な舞台で活躍しています。

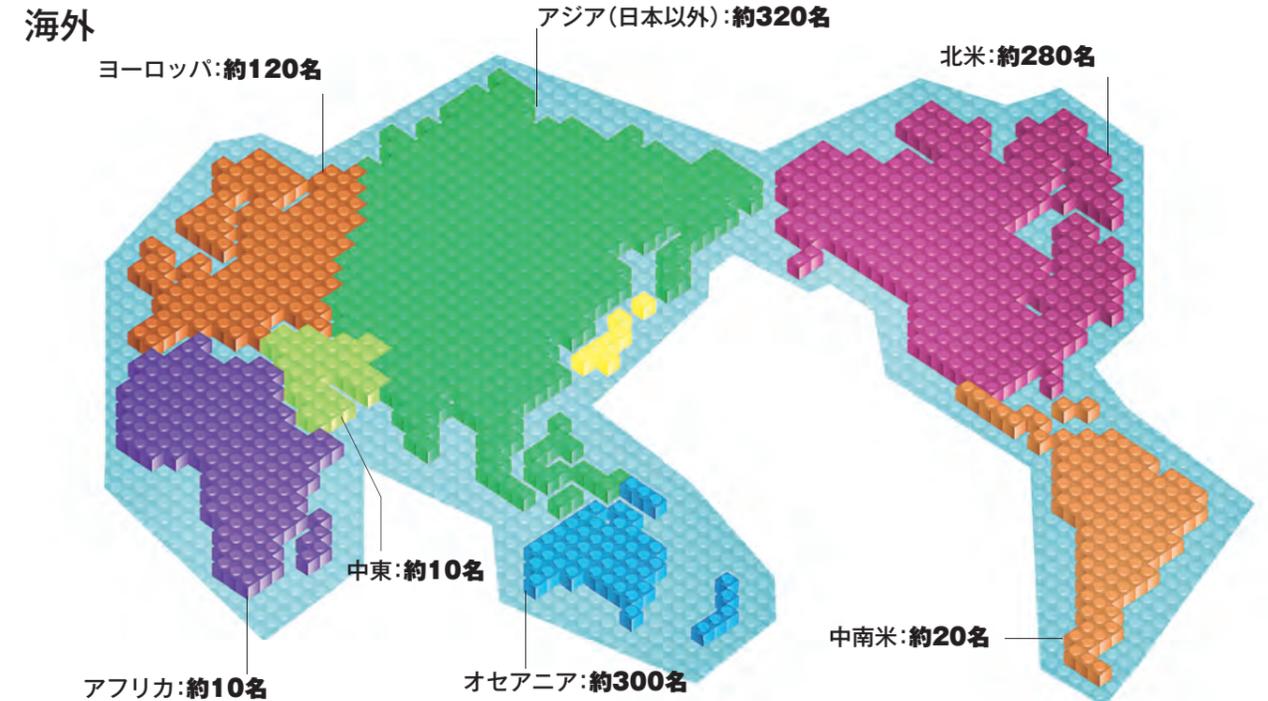
K-1ファイター、グラフィックデザイナー、競走馬の調教スタッフ……。今号の特集は多彩で魅力あふれる卒業生たちの登場です。彼らはどのような道をたどってきたのでしょうか。そのドラマをご紹介します。また、日本で、世界で様々な職業で活躍している卒業生の横顔も紹介！ 皆さん独自の道を切り拓いた卒業生たちです。

※図中の人数は、2017年11月現在、創友会・白鳥会登録情報に基づいて、日本の各地方の卒業生数、ならびに世界の各地域の卒業生数を示しました。(住所が未掌握の方は含まれておりません)



Feature 1: Soka University and Soka Women's College - Alumni's Potential

This is where Soka graduates live!  
Soka's alumni network spans from Japan to the world.



## 沖縄



**仲村 こず江さん**  
Kozue Nakamura  
(法学部23期、1997年卒業)  
沖縄平和法律事務所  
弁護士

私は現在、夫(法学部27期)と共に弁護士事務所を開設しています。司法試験合格までは長い道りでしたが、苦しい受験生活を支えてくれたのは国家試験研究室でした。創大を卒業した先輩の弁護士の方々が、毎週土曜日に講義やゼミをしてサポートしてくれました。温かい先輩、後輩の絆は創大の誇れる伝統だと思います。

## 兵庫



**山澤 高明さん**  
Takaaki Yamazawa  
(法学部25期、2002年卒業)  
かばんの総合病院  
株式会社 山澤工房 代表取締役

若い頃、世界一周の一人旅をしました。広く世界を見て父が経営していた靴修理の仕事が、日本人ならではの技術であると感じました。今は父のあとを継ぎ、修理・再生ビジネスで世界への飛躍を目指しています。後輩の皆さん、人生の本番は卒業してからです！今の努力や苦労は必ず役に立ちます！頑張ってください！

## 岐阜



**山下 信彦さん**  
Nobuhiko Yamashita  
(経済学部16期、1990年卒業)  
サン・ワード 株式会社  
代表取締役

兄が衣装店に勤めていたことでブライダル業界に興味を持ち、27歳で独立、29歳のときにオーストラリアでウェディングプロデュース会社を起業しました。現在は3つのブライダル施設の他に様々な事業を展開しています。私のベンチャー精神の原点は、創大時代に得た、自分の殻を破り、視野を広げることの大切さです。

## 東京



**堀木 章夫さん**  
Akio Horiki  
(経済学部4期、1978年卒業)  
有限会社 桔梗家  
(両国どぜう) 3代目

桔梗家は昭和8年創業、今年で85周年のどぜう料理店です。両親の働く背中を見て育ち、3代目を継ぎましたが、競争の激しい飲食業界で続けてこれたのは、創大で培った挑戦の心、負けない心の賜物です。今の創大の環境は全世界に向けて無限の可能性が開かれています。あらゆることにチャレンジする精神を大事にしてください。

## ドイツ



**野上 光一さん**  
Koichi Nogami  
(経済学部29期、2003年卒業)  
海外子女教育振興財団  
派遣教諭

無限の可能性を秘めた子どもたちと共に学び、成長したいと思い、小学校教諭に。海外の教育を経験して日本に還元しようと、海外子女教育振興財団の派遣教諭として、フランクフルトに赴任中です。日々、創立者の「人間教育」という理念がこの職業には必要不可欠と実感しています。在学生の皆さんも夢に向かって頑張ってください！

## Bangladesh



**久保 真治さん**  
Shinji Kubo  
(法学部9期、1984年卒業)  
国連難民高等弁務官事務所  
(UNHCR) 駐 Bangladesh  
代表

私は国連職員として、6,500万人の難民・無国籍者の国際的保護と恒久解決を目指して、日々奮闘しています。創大で学び、外交官試験に挑戦したことは、現在の日々の決断や任務遂行の上で大切な基盤となっています。10年後、20年後のビジョンを描きながら、大学生活を謳歌してください。

## 埼玉



**安 河栄さん**  
Ahn Hayoung  
(韓国から交換留学、2013年修了)  
レイコップ・ジャパン  
株式会社

私と創大との最初の縁は、2週間の語学研修でした。当時の私は、自分にはできないという見えない線を引いていましたが、寮生活や授業で学生や教員に励まされ、留学への挑戦を決め、交換留学生として再度来日しました。創大が私の失敗を恐れず挑戦する心を作ってくれました。

格闘家として、  
負けない覚悟で勝ち続け、  
さらに上を目指す！



## Profile

**佐々木秀樹さん**  
Hideki Sasaki  
(経営学部41期、2015年卒業)  
キックボクサー

キックボクシング部丈夫会(ますらおかい)の主将を務め、全日本学生キックボクシング選手権で2階級王座を制覇。J-NETアマチュア全日本大会でも優勝。在学中の2014年にプロデビュー。大手不動産会社に就職した後、2017年3月退職。翌月にプロ復帰。9月、「K-1 GLOBAL」世界トーナメント-65kg級に参戦し、2戦連続KO勝ちで王座に輝く。リングネームは「秀樹」(新宿レフティージム所属)。プロでの通算成績は12戦11勝7KO。



**抑えきれなかったリングへの情熱。  
プロ復帰後わずか半年で、世界制覇!**

キックボクシングを始めたのは創大に入學してからですが、全日本学生キックボクシング選手権、アマチュア全日本大会など、複数のタイトルを獲得することができました。タイトルを獲得したのは強い先輩たちとの練習で力を付けることができたからです。そして4年生でプロデビューを決心。卒業までプロとして存分に闘い、キックボクシングに思いを残すことなく社会人になりたいと思いました。7月のデビュー戦を皮切りに、3月までに6戦。5勝1敗3KOでした。

決めた通り大学を卒業して就職し、営業職に就きましたが、半年ぐらいで、自分でも驚くほどリングに上がりたいという情熱を抑えられなくなったのです。しかし、仕事を中途半端にしたままリングに戻ることはできない、営業で胸を張れる結果を出そうと決心。がむしゃらに働いて仕事の目標を達成し、2017年3月に退職しました。

すぐに5月20日の復帰第1戦が決定。2年間休止していた身体能力を呼び起こすために、トレーニングを開始しました。結果は1ラウンド1分19秒KO勝ち。その後、第2戦、第3戦と連勝し、9月に韓国で開催された「K-1 GLOBAL」世界トーナメント-65kg級で優勝しました。

私の信念は「負けない覚悟」。プロは、半年ごとにタイトルマッチがあるので、勝ち続けてベルトを守りたい。また、日本国内の試合でもタイトルを獲得したい。そのためにはさらに自分を鍛えなければなりません。

プライベートでは2017年11月に子どもが生まれました。背負うものが増えましたが、幸せなことに、私を支えてくれる人、応援してくれる人たちが大勢います。それが、この世界で自分の生き様を表現していくパワーとなっています。

後輩の皆さんには、自分は誰のために、何のために頑張るのかを考えてほしいと伝えたいですね。その覚悟を持って誠実に取り組めば、結果は必ず出ます。それを信じて進んでいってほしいと思います。

**発行部数3万3千部の  
情報誌編集部で、デザインから  
インタビューまでこなす日々**

現在、私はサンフランシスコの日本人向け週刊情報誌『J weekly』の編集部で、グラフィックデザイナーとして働いています。渡米前は日本で、有名ゲームキャラクターの著作権を管理する会社の宣伝企画部のデザイナーでした。

文学部卒業の私がなぜデザインの仕事をしているのか？それは、もともとアートやデザインに興味があり、就職した会社で営業職として働きながら、独学でデザインの勉強をしたからです。友人の伝手で少しずつデザインの仕事をしながら実践の中で経験とセンスを磨き、技術を習得。自信がついたところで、勤めていた会社を辞め、デザイナー職に転職しました。子どもの頃から絵を描くことが大好きで、美術関係の仕事に就きたいと漠然と考えていた夢を、30歳過ぎて実現することができました。

渡米したのは、海外で働きたい、というもう1つの夢を実現しようと思ったからです。アメリカでの仕事を紹介するエージェントを通じて転職活動をする、ロサンゼルス・ハワイを含めた3都市、4社から内定をもらい、その中から現在の会社を選びました。サンフランシスコは若い起業家が多く、ユニークなアイデアを持ったクリエイターが集まっているところだと聞き、それこそが私の理想とする環境だと感じました。

この地ではみんな当たり前のように転職や起業をして、自分を常にステップアップさせています。そういうスタイルは私の生き方に合っていると感じ、無期限でビザが延長できる「アーティストビザ」の取得を申請しました。今後の目標はキャラクタービジネスでの起業。もちろん、プライベートも大切にしたいです。

海外で働くには、英語はもちろんのこと、自分にしかできない何かを身に付けることが重要です。そして、「自分の軸」を大切にすることです。卒業式のときに創立者からいただいた「焦らずに、十年一剣を磨きなさい」というスピーチが私のモットーです。

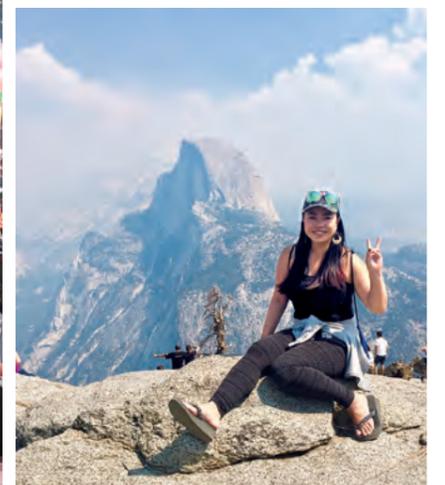
**起業家や  
クリエイターが集まる  
サンフランシスコで、  
自分の可能性を追求!**



## Profile

**内藤 瑠美さん**  
Rumi Naito  
(文学部29期、2003年卒業)  
グラフィックデザイナー

文学部社会学科でマスメディアを専攻。クルーダンス部で活躍する。卒業後は営業の仕事のかたわら独学でデザインを学び、音楽CDのジャケットデザインなどを請け負う。2013年、有名ゲームキャラクターの著作権を管理する会社に転職し、宣伝企画部でデザイン職に就く。2016年サンフランシスコに渡り、現在、ベイエリア在住の日本人向け週刊情報誌『J weekly』のグラフィックデザイナーとして活躍中。



# 海外重賞レースを舞台に、 大好きな馬とともに 活躍したい!



## Profile

**山田 翔太さん**  
Shota Yamada  
(工学部36期、2010年卒業)  
ノーザンファーム勤務

少年時代に漫画『みどりのマキバオー』を読んで馬に魅了され、競走馬の騎手や調教師などにあこがれる。卒業後は競走馬の生産・育成を手がける総合牧場「ノーザンファーム」に就職し、現在8年目。2016年、競走馬の本場イギリスとフランスの厩舎で経験を積んで帰国した。



## 名だたる競走馬を多数輩出している名門牧場で、 デビュー前の馬を調教

北海道のノーザンファームという牧場で調教の仕事をしています。皐月賞・日本ダービー・菊花賞の3冠を獲得したディープインパクトをはじめ、数多くの名馬を輩出している牧場で、現在約2,700頭の馬がいます。牧場で生まれた馬が1歳3~4ヶ月ぐらいになると、競走馬になるための調教がスタート。背に鞍を乗せて慣れさせることから始め、約1年かけてデビューできる状態にまで仕上げしていきます。

ノーザンファームに入社したきっかけは、「騎乗未経験者研修プログラム」です。私のように乗馬経験のない者にも、騎乗技術を教えてくれるこのプログラムによって、この仕事に就くことができました。競走馬は闘争心が強く気性も激しいので、騎乗することはとても難しく苦労しましたが、10ヶ月後に技量を認められて、晴れて就職することができました。馬の性格を見極めながら、様々な方法でアプローチしていく調教の仕事は経験がものをいう世界です。先輩たちは職

人気質の人が多く、手取り足取り教えてくれるわけではありません。必死にくらいついていく中で仕事を覚えました。

つらくて挫折しそうになったこともありましたが、落馬して大ケガをしたことも。それでも夢を追い続けるのは、馬が好きだから。なかなか言うことを聞いてくれないのですが、誠意をもって世話をしていると、こちらの気持ちが通じる瞬間があり、かわいさを感じます。自分がかかわった馬が重賞レースに勝ったときの喜びも格別です。目標は、世界一といわれるフランスの凱旋門賞に出場して勝てる馬を育成すること。でも、大きなレースに勝つことだけがすべてとも思っていない。馬の潜在能力を100%引き出してあげられる、そんな調教スタッフでありたいと思っています。

今の自分があるのも創大の人間教育のおかげだと実感しています。どんな仕事に就いても、どんな壁にぶつかっても創大で学んだことが支えになると、自信を持って後輩に伝えたいですね。

[特集2] 卒業生が繋ぐ思い

## 創大生・創価女子短大生を 支える力

「人間教育の最高学府」として発展し続けている本学ですが、それは「先輩から後輩へ」一創立以来、継承されている強い思いと卒業生の社会での活躍によって支えられています。ここでは、在校生、卒業生にそれぞれ思いを語っていただきました。

### 創価大学のキャリアサポート

年4回開催している創大就活合宿では社会の第一線で奮闘している卒業生との懇談会を開催しています。その他、公務員志望の学生が本学卒業生のアドバイスを聞くことができる公務員フェスタや、国家試験研究室では本学出身の弁護士や公認会計士、税理士の現役の先輩方などが講師として学生への指導を実施しています。



Feature 2: Connections of Soka Alumni  
Supporting Soka University and  
Soka Women's College Students.



### 創価女子短期大学の キャリアサポート

就職活動のトップランナーを育成する創短就勝塾では卒業生も参加し、選抜された塾生たちが特別プログラムを受講します。その他、就活フェスタや業界別OG懇談会など、多くの卒業生に参加していたイベントを定期的に開催しています。

### 支援者の思い

創価大学創立45周年・創価女子短期大学開学30周年記念寄付事業には、多くの卒業生の方々から真心のご寄付を頂戴しました。各種奨学金や、教育環境の整備、地方リターン等就職支援制度など、卒業生の支援が在校生の成長を支えています。



# 在校生が語る 多くの支援のおかげで夢を実現できました!

奨学金がひらいてくれた進学への扉、CSSの先輩と共に描いたキャリアへの道。  
2つの支援は私の人生を前向きで力強いものにしてくれました。



## 突然の大地震が 高校生活を襲う

東日本大震災が発生したとき、私は福島の県立高校1年生でした。それまでの平穏な生活が突如、大きく変わっていきました。震災の余波で授業が再開されたのは高校2年生の夏。高校2年生の夏といえば、普通は大学受験に向けて勉強も追い込みに入っている頃です。さらに、3年生の夏には引越を余儀なくされるという日々。落ち着いて勉強できる状況ではありませんでしたし、経済的にも余裕がなく、私は進学をあきらめかけていました。

そんな私に大学進学への扉を大きくひらいてくれたのが、創価大学創友給付奨学金でした。この奨学金は受験前に申請するもので、入学金の半額を免除し、授業料・施設設備費・教育充実費の半額を4年間免除してくれるのです。給付が決まったとき、大学で勉強できる喜びと共に、両親が心から喜んでくれている姿にほっとしたのを感じています。

## CSSのアドバイスで、 自分の理想とする仕事と出会う

創大のキャリア支援、特に先輩や卒業生の皆さんのサポートは感動的です。CSSとは、キャリアサポートスタッフのことで、進路・就職が内定した4年生の有志が、1・2年生の進路支援をしてくれます。

1年生の「キャリアデザイン基礎」の授業では自分のキャリアをイメージすることを学びます。CSSの先輩は、私の中にある漠然とした思いに寄り添いながら話を聞き、順々にそれを明確にすることを手伝ってくれました。決して押し付けることなく、私の考え方を尊重しつつアドバイスをくれるので、とても前向きな気持ちで将来の自分の仕事とは、

そのためには何が必要なのか、しっかりと考えていくことができるようになりました。

そのおかげで、1年生のときには、チームでする仕事、社会に大きく影響する仕事、老若男女に貢献できる仕事、というイメージから、株式会社大林組という具体的な企業まで思い描くことができました。

2年生でインターンシップを経験し、3年生のときや留学帰国後も、キャリアセンターの方やRSS(リクルートサポートスタッフ)の先輩、OB・OGの方々、そして共に頑張る同期の仲間を支えられながら着実に就活を進め、内定をいただくことができました。

## 自分が受けた支援を 後輩にも、社会にも恩返ししたい

4年間の大学生活は、本当に充実したものでした。もし、あのときに進学をあきらめていたら、今の私はありません。完璧主義のあまりに、自分を追い詰めていたことを見つめ直す機会をくれた2年間の寮生活、生涯を通しての目標を見つけた韓国・昌原大学への交換留学、たくさんの方々に支えていただいた就職活動。創友給付奨学金という制度、そしてそれを支援してくださる方々に心から感謝しています。

私が受けた奨学金や在学中の支援はもちろんですが、震災では日本国内はもとより、海外からもたくさんの支援をいただきました。そうした様々な形で受けた恩をこれからは私も返していきたいと思っています。

目の前にどんなに大きな壁が立ちふさがろうとも、あきらめなければ道がひらけることを創大の4年間で学びました。

# 卒業生が語る 後輩を支援するのは創大の伝統です

人とちょっと違った道を歩んだ自分の、大学時代や社会での経験が少しでも役に立てば嬉しいです。

## 通教の卒業と私の原点、 そして社労士に

私が社会保険労務士として開業して以来、もう四半世紀が過ぎました。その間、まさにテレビドラマが何本も作れるほど、様々な経験をしてきました。

通教在学中は建築関係の職人をしていましたが、会社が倒産するという労務上の問題で知り合いから法律事務所を紹介され、就職したことが、社会保険労務士の資格を目指したきっかけでした。4年生のときにその法律事務所働くことになり、法律を活かした仕事に進もうと考え、通教を6年かけて卒業し、社会保険労務士の資格取得を目指したのです。

私の原点は、卒業したその年の第10回学光祭です。「新学光体操」という演目の責任者として、出演者にハンドマイクで号令をかけた私にできるように、創立者が一緒に踊ってくださったことは生涯忘れません。その後、真剣に勉強に取り組みましたが、そう簡単にはいきません。社労士の国家資格を取得するまでに4年かかりましたが、それもこの仕事に出会うために必要な経験をするための時間だったと思います。

社会保険労務士として32歳で独立し、個人情報保護法や外国人雇用、マイナンバー制度、労務トラブルなど、29冊の書籍も出版できました。それも、今まで出会った先輩や支援してくれた方々のおかげであり、少しはみ出したり、回り道をしたりしてきたからだと思います。社会保険労務士は、自分にとって天性の仕事と言えるかもしれません。

## ノウハウをすべて後輩に 注ぎ込んで応援

私は現在、都立の看護学校で10年以上講義を担当し、その前の専門学校の講師を合わせると20年以上になります。専門学校の講義の際に教材として考えた

のが、手作りの「生活と法律」というシリーズです。講義対象の学生と同じ年代の学生を主人公にして、彼らが様々なトラブルに巻き込まれ、それを解決していく姿を、事件を物語に仕立て、解決方法や関連する法律を解説するのです。毎回、物語の最後は「続く…」。

最初は退屈そうにしていた学生の顔が、興味で生き生きとしてくるのが分かったと、心の中で「やった!」と叫んでしまいます。現在は、主人公は看護学校の学生。彼氏とデート中に交通事故にあたり、金銭トラブルに巻き込まれたりドラマチックに展開します。

また、単に知識としてではなく、生きた法律としてとらえてもらいたいと、年に1回、法廷見学を行っています。実際の裁判を見て、事件の発生原因や、それが自分の仕事にどうかかわってくるのか、何か事件が起きたらどう対処すればよいのか。私の社会保険労務士の経験から、実社会に出てから生きることを知ってもらいたいと考えています。

昨年は、創大看護学部も初の国家試験の受験があり、看護学校で毎年作成している「国家試験、直前対策」(看護の関係法規や労働関係法をまとめたもの)を同学部提供することができました。看護学部1期生の全員国家試験合格に少しでも貢献できていたら嬉しいです。

私が今思うのは、すべての経験は財産であり、むしろ辛い経験ほど意味があり、価値のあるものかもしれないということです。後輩の皆さんには「決して一人で悩まず、まずは誰かに相談を」と伝えたいです。私も自分の立場で、後輩の笑顔が見られるよう、できる限りの応援をしたいと思っています。



## Profile

本間 邦弘さん  
Kunihiko Honma

(通信教育部6期、1985年卒業)

社会保険労務士 本間事務所所長  
開業25年の経験と実績で、社会保険労務士のスペシャリストとして厚い信頼を得ている。専門分野だけでなく、法律、財務など他分野とのネットワークも駆使し、経営者や相談者と共に、問題解決まで悩むことを厭わない姿勢を貫いている。主な著書に「個人情報保護法改正対応 きちんと管理 個人情報」(労働新聞社)、「外国人雇用のトラブル相談Q&A」(民事法研究会)など多数。

# 卒業生によるサポート

卒業生の実体験に基づく支援は大きな力です。

## 卒業生の声



### Profile

**小川 大貴さん**  
Taiki Ogawa  
(文学部38期、2013年卒業)  
本田技研工業 株式会社勤務

## 就活合宿は創大の素晴らしい伝統

キャリアセンターが主催して年間を通して4回の「創大就活合宿」が開催されています。社会の第一線で奮闘している卒業生との懇談会や実践的な選考対策会などを通じて、学生が希望する進路に進めるようにサポートしてくれています。私も学生時代、「創価大学に恩返ししたい!」「世界で活躍できる企業に就職したい!」そんな想いを胸に就活合宿に参加しました。就活合宿はたった2日間ですが、そこで出会った仲間、

そして先輩方は自身にとっての一生の宝となり、今も強い絆で結ばれています。

社会人になった今、私は他の卒業生の皆さんと共に合宿へ参加させていただき、全員が使命の進路を拓けるように、全力で戦っています。世代を超え合宿生、サポートスタッフの学生、卒業生、教職員が一致団結し、一人ひとりの人生を切り拓いていくことができる就活合宿は、創大にしかできない素晴らしい伝統だと感じています。

## 卒業生の声



### Profile

**江崎 明美さん**  
Akemi Ezaki  
(創価女子短大 現代ビジネス学科25期、2011年卒業)  
日本航空 株式会社勤務

## 悩んだときこそ成長のチャンスです!

就職活動は、自分自身と向き合える大切な期間であり、夢をかなえるチャンスです。時には希望通りにいかないこともあるかもしれませんが、また、いろいろな壁が皆さんを待っているかもしれません。しかし、「2年間で4年分の勉強を」と努力を重ね、短大生活を

送ってきた皆さんは、どんな壁も必ず打破できると信じています。悩んだときこそ成長のチャンスだと私は感じています。短大生全員が、輝く社会人生活を送ることができますよう、心から応援しています。

## 在校生の声



### Profile

**山内 結貴さん**  
Yuki Yamauchi  
創価女子短大 現代ビジネス学科2年  
JTB熊本リレーションセンター内定  
(2018年4月より株式会社 JTBに統合します)

## 先輩のアドバイスで、“自分の軸”を定めることができました

今年から地元熊本で就職します。熊本で憧れの観光業務に携わることができるのも、先輩の支えがあったからです。就職活動を始めたときは、自分がやりたいことが分からず、不安だった私に対して、創短就勝塾で出会った先輩たちは、私が何に興味を持っているのか、それがどのような仕事に結びつくのかを具体的に絞り込んでアドバイスをしてくださいました。そして職種を絞り、働くイメージをふくらませ、仕事へのモチベーションを

高めてくれました。先輩と話す中で私の軸は、人とかかわること、震災復興に取り組む地元熊本に貢献できること、そして長く働けることだと気づきました。内定をいただいた会社は、まさに理想的で今から働くことが楽しみでわくわくしています。創短就勝塾では、様々な業界で働く先輩たちが、受講生一人ひとりの担当になり、アドバイスをしてくれます。私も後輩をサポートし、少しでも恩返しをしていきたいです。

# 学生を応援する経済的支援

経済的支援は学生にたくさんの可能性を提供します。

## 各種奨学金制度の充実

卒業生をはじめ、創価大学を支援して下さる多くの皆様のおかげで創価大学の「奨学金制度」をこの5年間で大きく充実させることができました。ここでは、創価大学の各種奨学金制度をご紹介します。

### POINT1

#### 返還義務のない奨学金制度が充実

創価大学独自で実施している学部生対象の奨学金は、学生の皆さんが安心して学業に取り組めるよう、すべて返還義務のない「給付型奨学金」や「学費減免型奨学金」です。

### POINT2

#### 全国トップクラスの実績

創価大学の2016年度給付型奨学金採用数は延べ2,482名と全国でトップクラスです。なかでも創価大学は経済支援を目的とした給付型奨学金に1,091名を採用しています。これは私立大学の平均採用人数を大きく上回ります。

### POINT3

#### 学費の負担を軽減

創価大学の実施する奨学金の多くは「学費減免型奨学金」で、学費の半額を免除する制度が充実しています。例えば、創価大学の文系学部の入学金を含めた学費が半額免除になった場合、初年度納付額は56万円になります。これは国立大学の初年度納付額(約82万円)よりも25万円以上低い金額です。

### POINT4

#### 入学前に採用

経済的に困難な学生が安心して入学できるよう、入学前に予約で採用する創価大学創友給付奨学金も実施しています。採用になれば、入学金を含め学費が4年間半額免除されます。さらに、創価大学特別奨学生にも採用されると、入学金を含め4年間の学費が全額免除されます。

## 入学前に予約

### ●創価大学創友給付奨学金 (受験前に予約)

2011年度より卒業生の集いである創友会からの支援等を受けて始まり、本学を第一志望とする受験生を対象に経済的支援を目的とした返還義務のない入学前予約給付奨学金です。入学金の半額および授業料・在籍料・施設設備費・教育充実費の半額が原則として4年間免除されます。

### ●特別奨学生制度 (入試成績によって審査)

各入試の成績上位者から選考を行います。採用者は「入学金」の半額と「授業料」「教育充実費・施設設備費」の半額を4年間免除します。

### ●創友会ふるさと給付奨学金 (入学前に給付)

卒業生組織である創友会より給付される奨学金制度で、名称に“ふるさと”とあるように、各県在住者や出身の卒業生による創友会への寄付金を原資として、その県の受験生に奨学金として入学前に100万円が支給されるものです。

### ●LA(Learning Agreement)奨学生制度

センター試験利用入試(前期3科目/4科目方式)において高い得点率での合格を条件に、「入学金」の半額と「授業料」「教育充実費・施設設備費」の半額を4年間免除し、さらに、グローバル・シティズンシップ・プログラム(GCP)、法学部グローバル・ロイヤーズ・プログラム(GLP)、経済学部Honors Program in Economics(HOPE)希望者には受験前に受講を先行確約する制度です。

## 入学後に申請

### ●創価大学給付奨学金 (学費減免、入学後に申請)

経済的理由によって学業の継続が困難であると認められる学生に、後期納付分の「授業料」「教育充実費・施設設備費」を減免します。

### ●創価大学牧口記念 教育基金会

(学部生奨学金/看護学部生奨学金)  
経済的理由によって学業の継続が困難であると認められる学生に、年間20万円ないし25万円を給付します。

### ●兄弟姉妹同時在籍者への 給付奨学金

兄弟姉妹が創価大学・創価女子短期大学に同時在籍している新生に対し2人目の場合は、入学後「入学金半額相当額」、3人目以降の場合は「入学金全額相当額」を給付します。

## 支援の結果の一例

創価大学を支援して下さる皆様からのご寄付を、奨学金としての支援だけではなく、創大生の学生生活を豊かにし、創大生の成長を全力で支援するために大切にに使わせていただいています。

### 教育環境整備

2017年1月まで募集した45周年寄付事業で頂戴したご寄付は、新たな学生寮「滝山国際寮」(男子)、「万葉国際寮」(女子)の建設費用の一部に充てさせていただきました。この男女国際寮は2017年4月に完成し、世界から集った留学生と日本人学生が仲良く生活しています。



### シャトルバス

新宿・創大間を運行する「シャトルバス」(年間延べ約55,000名が利用)の運賃の補助を行っています。



新宿と創大キャンパス間を運行

### 100円朝食

学生の健康促進のため、「100円朝食」(平日約300名が利用)を実施し、学生から好評をいただいています。



朝食は学生のパワーの源!

## 寄付に関する問い合わせ先

・「学校法人 創価大学」へのご寄付に関するお問い合わせは創価大学校友課まで  
企画部校友課 電話:042-691-2213 FAX:042-633-4945 Mail:kifu@soka.ac.jp(平日9:00~17:00)  
・「創友会」へのご寄付に関するお問い合わせは創友会事務局まで  
創友会事務局 電話:042-691-1300 FAX:042-691-1768 Mail:alumni@soka.ac.jp(平日11:00~12:00、13:00~17:00)

[特集3]創大キャンパス再発見

# 創大名所マップにアクセスしてみませんか

創価教育研究所HP内に創価大学の歴史を紹介する「創大資料室」ページが新設されました。新企画の第1弾として、学内の名所を紹介する「創大名所マップ」が完成しました。さらに、創大の名所を「Google マイマップ」内に登録し、創大の歴史が詰まった名所の由来や写真を公開しました。

創大名所マップ: <https://www.soka.ac.jp/edu/document/spot/>  
 Google マイマップ: [https://www.google.com/maps/d/u/1/embed?mid=1vZkasFJj2E8\\_7LvML0rX6KlZSm0](https://www.google.com/maps/d/u/1/embed?mid=1vZkasFJj2E8_7LvML0rX6KlZSm0)  
 ※「創価教育研究所」を検索し、「創大資料室」から「創大名所マップ」を見ることができます



Googleマイマップ内は、初回として学内の「ブロンズ像」と「石碑」の由来と写真を掲載いたしました。キャンパス内散策の際にぜひご利用ください。今後、「道」「庭」「丘」「橋」等、調査を経て年々追加して紹介する予定です。

# 卒業生から寄贈されたブロンズ像の設置場所をチェック!



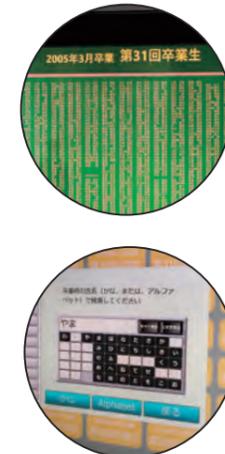
各期の卒業生から寄贈されたブロンズ像が、学内の各所に設置されています。ブロンズ像の設置場所を一覧にまとめました(右表参照)。創価大学へお越しの際は学内を散策しながら探してみてください!

◀43期生 中央教育棟1階

設置場所	期	名称	
中央教育棟	1階ロビー	28	勝利の宣言
		33	後継
		39	先駆
		42	黎明
	2階渡り廊下 (エントランス～ディスカバリーホール入口)	43	創造
		30	栄光 勝利
		36	前進
		29	ユリウス・カエサル
		31	智勇
		34	師子
本部棟	5階ロビー	35	絆
		38	共戦
		32	正義
		37	師弟不二
		40	誓願
	41	大道	

※2017.11.15現在

# 中央教育棟に設置されたデジタル卒業生銘板をチェック!



2017年9月、デジタル卒業生銘板が中央教育棟1階のロビー奥に設置されました。このデジタル卒業生銘板はタッチパネル式になっており、卒業年(または期)を選び、その年の卒業生の氏名を表示させることができます。また、タッチパネルの操作により、個人の氏名を拡大表示することもできます。さらに、氏名検索も可能で、ご家族やご親戚の方の銘板を確認することもできます。

# 創価教育同窓の集いから各期大会へ

これまで、創価同窓各会の代表が一堂に会することを目的として、「創価教育同窓の集い」を創価大学で開催してまいりました。創友会としては2学年ずつが「創価教育同窓の集い」の参加対象となっていました。卒業生の皆様から、母校に戻る機会を増やしてほしいという要望や、創価同窓の各会の卒業生の方からは、母校に戻って青

春の原点を確認したいというお声もいただいていた。これらの声を受けて、創価同窓の各会とも協議・検討を重ね、2017年からは、創価同窓の各会が、それぞれの母校で同窓会を開催することになりました。創友会では、2017年度から、卒業5年、10年、20年、30年、40年となる期(入学期、通教は卒業期)の方を対象とした卒業生

の各期大会を、オープンキャンパスなどのイベントの際に開催をしています。参加対象期の方には、卒業生大会開催の約2ヶ月前を目処に、「創友会卒業生大会のお知らせ」として創友会からの開催通知を郵送いたしますので、詳細はそちらをご覧ください。※創友会のご登録情報が最新でない場合は、開催通知が届かない場合があります。

# SOKA University original goods

ぞくぞく登場している  
新商品の一部と、  
ロングセラーのお菓子を  
一挙ご紹介！

みんな大好きなガチャガチャ  
が学生ホールに出現！



かわいい  
消しゴムで  
勉強もやる気  
アップ!?

創大ユニフォームを着た消しゴムは、使うのがもったいないぐらいかわいデザイン！老若男女問わず、みんなから大人気です。学生歌の歌詞付きが、うれしい特典です！

1回300円(全6種)

どれもカッコ良くて  
迷う人続出！

スポーツ  
ブランドと  
コラボした  
ウェアが登場！



PUMAスウェット(S/M/L)各8,800円

写真はPUMAとコラボしたスウェットですが、Champion、MIZUNOともコラボしています。すべてカッコ良く、どれを買うか悩んでしまう圧巻の30種以上のラインナップ！学生ホールでの販売はもちろん、通信販売も行っています。

創学サービスホームページ <https://sogakuservice.co.jp>

プレゼントに人気！  
新商品の文具たち



かわいい  
デザインが  
人気の  
新商品！

英国王室御用達のPARKERのボールペンはスタイリッシュで書き心地も◎。有名文具メーカーとコラボしたレターセットは創大バージョン、短大バージョンがあり、プレゼントの定番。何かと便利な小物入れは、かわいいデザインでプレゼントにも愛用にも好評！

1. PARKER×創大コラボボールペン2,300円、2. 創大レターセット・短大レターセット各400円、3. 創大シールセット・短大シールセット各200円、4. 創大がまぐち・創大ポーチ各1,600円

お土産で  
悩んだら  
定番のコレ！

長年愛されている  
ロングセラーのお菓子！



長年愛され続けている「創大缶クッキー」、銀座コロパンとコラボした「創大メルヴェイユ」、クッキーランチをチョコレートでコーティングした「創大のシンフォニー」は、おいしいのはもちろんのこと、数量も多く、たくさんの方から大変ご好評をいただいているロングセラーのお菓子です。是非ご賞味ください！

創大缶クッキー700円、創大メルヴェイユ500円、創大のシンフォニー600円

※「PARKER」「PUMA」「Champion」「MIZUNO」は各社の商標または登録商標です。

※すべて税込みの値段です。

## 創大の 学問 探訪



FILE  
15

教育学部  
教育学科  
鉤 治雄 教授

子どもの問題を扱う「教育心理学」と、人々が元気に生きるための「ポジティブ心理学」が研究の二大テーマ

「心理学は人々を問題解決に導き、元気づける学問。それを学生たちに伝えたい」

“Psychology is an academic discipline that aims to console people and help solve their problems. That's what I want to teach my students.”

いじめや不登校などの問題を、  
心理学的に分析し解決法を探る

鉤教授の専門は心理学。学部や通信教育部で心理学、教育心理学の授業を担当しています。

「子どもたちの様々な問題に対して、心理学からアプローチするのが教育心理学です。例えば、いじめや不登校などの問題が生じたとき、子どもたちにどのような教育をするのか、あるいはそうした問題が起きないようにするためにどのような予防的教育をするのかを研究する学問です。教育心理学を学ぶことで、子どもの心理や親子関係、教師と生徒の関係などに対する理解を深めてほしいと考えています」

心理学の新潮流であるポジティブ心理学。  
「楽観主義」に注目して研究中

鉤教授には、もう一つの研究テーマがあります。それが「ポジティブ心理学」。

「1990年代後半から出てきた新しい心理学の分野です。それまでの心理学はネガティブな感情についての研究に重きがおかれていたのですが、逆にポジティブな感情を研究しようというものです。ポジティブな感情が人々の行動とどのような関連があるのか。それを研究し、人々の生き方や幸福といった問題にも心理学が貢献しようという考えから出発しています」

ポジティブ心理学で取り上げる感情の一つが「楽観主義」です。鉤教授は、質問紙調査やインタビューといった手法を用いて、その人の楽観主義的な傾向が幸福感や感謝感情、自尊感情などどのように関連するのかを調べています。

「楽観主義というと、物事を深く考えない人をイメージするかもしれませんが、ポジティブ心理学の楽観主義は現実の厳しさや困難さを客観的に認識したうえで楽観主義です。人間には弱さがありますが、困難に立ち向かえる強さもあります。その部

分に目を向けて、人々を元気づけるための研究です」

教育を取り巻く複雑な現場。  
卒業生が相談に訪れることも

鉤ゼミは3年生8人、4年生8人。「日本の学校教育と新学習指導要領の特色」「いじめの対応と防止プログラム」「発達障がいとの現状と対応」「フィンランドの教育事情」など、現在の教育的課題や諸外国の教育事情などについて、各自がテーマを選びます。テーマに沿って調べ、論点をまとめて発表し、皆で討議するという形で行われています。これにより、子どもを取り巻く諸問題や教育事情についての一般的な知識を深めていきます。

ゼミ生の進路は、小学校や中学校の教員、幼稚園教諭、特別支援学校教諭などの教職の他に、少年鑑別所(法務教官)、地方公務員、児童相談所、一般企業、国際機関など多岐にわたります。職場の人間関係に悩んだり、壁にぶつかったりした卒業生たちが相談に訪れることもよくあるそうです。「教育の現場は、卒業してからが本番。職場の人間同士で支え合うことで乗り越えられる相談も多いのですが、現実の職場にはその余裕が無いように感じます。私のところに相談に来ることで、少しでも気持ちが前向きになれば。まさに彼らこそ、楽観主義を実践してもらいたいと思っています」



ポジティブ心理学や楽観主義の研究成果に基づいた、一般向けの本も多数執筆している



ゼミはいつも和気あいあい、ゼミ生は皆ポジティブ



Profile

鉤 治雄

Haruo Magari

大阪府出身。1976年大阪教育大学大学院教育学研究科修士課程修了。追手門学院小学校教諭、追手門学院大学教育研究所員を経て、1987年創価大学通信教育部講師、1989年助教授、1992年創価大学教育学部助教授。現在は創価大学教育学部教授、創価大学大学院文学研究科教授、教職キャリアセンター長。専門は心理学。著書は「人づきあいが楽しくなる心理学」(第三文明社)、「子どもと大人のための臨床心理学」(北大路書房)など多数。

# 国家試験合格者

司法試験や公認会計士試験、税理士試験などの難関とされる国家試験、国家公務員試験、地方公務員試験を目指す人のサポートを目的に、法律教育センター、会計税務教育センター、行政教育センターの3つのセンターを設置しています。教員や本学出身の現役弁護士・公認会計士・税理士や合格間もない先輩などの講師陣が、きめ細かい指導を行っています。「2017年司法試験」「2016年公認会計士試験」「2016年度税理士試験」の合格者は、以下の通りです。

## 2017年司法試験 合格者

坂田 泰紘	後藤 学	玉木 晴香	水丸 達雄	窪 和隆	竹内 小百合	大平 健城
藤中 千香子	瀬野 和希	飯田 秀之	原田 信一	安田 和男	黒川 真希	堀尾 雅光
中村 裕	稲村 将吾	谷本 英雄	山内 英一			

## 2016年公認会計士試験 合格者

大久保 維	釜屋 秀雄	松本 愛美	山本 遼太郎	松井 雄介
-------	-------	-------	--------	-------

## 2016年度税理士試験 合格者

辻村 光城	萩窪 正寛	良本 忠萬	松井 和夫	関 伸也	百瀬 健太郎	渡会 克己
吉岡 孝枝	吉澤 光春	田中 広平	丸岡 拓人	小野 郁三朗	桐山 英夫	桑原 修次

# 第9回(2017年度)創価大学シュリーマン賞受賞者

本賞は、「大いなる夢」に生きる情熱を持って、類まれなる語学の才能を発揮したシュリーマンの名を冠しています。国際性豊かな世界市民の輩出を目指し、語学修得に励む創大生の努力と成果を顕彰しています。第9回(2017年度)シュリーマン賞の受賞者数は、以下の通りです。

英語	・ TOEFL...PBT550点以上、 CBT213点以上、iBT80点以上のいずれかを獲得 (TOEFL ITP 可 550点以上) ・ TOEIC...730点以上獲得 (TOEIC IP 可 730点以上) ・ IELTS 6.0以上・英検準1級以上合格 ・ 国連英検 A級以上合格	225名	中国語	・ 中国語検定2級以上合格 ・ 中国語HSK (漢語水平考試) 5級195点以上、もしくは6級180点以上	15名
ドイツ語	・ ドイツ語技能検定 2級以上合格	1名	フランス語	・ 実用フランス語技能検定 2級以上合格 ・ DELF B1以上合格 ・ TCF 300点以上	2名
イタリア語	・ 実用イタリア語検定 2級以上合格	1名	ポルトガル語	・ 「外国語としてのポルトガル語検定試験」(APLE) 上級以上合格 ・ 「外国人のためのポルトガル語検定試験」(CELPE-Bras) Advancedレベル以上合格	1名
日本語	・ 日本語能力試験N1合格 (ただし144点以上)	1名			

## シュリーマン賞を受賞しました!



**山口 朱生さん**  
Aki Yamaguchi  
文学部4年

2016年2月から約1年間パラナ連邦大学に交換留学。2017年2月、大阪・サンパウロ姉妹都市協会主催の「ポルトガル語スピーチコンテスト」で協会長賞を受賞。三菱電機株式会社に内定。

## ポルトガル語で初の受賞者に選ばれて光栄

ブラジルのパラナ連邦大学留学中に受けた「外国人のためのポルトガル語検定試験」(ブラジル教育省主催)の結果が基準以上だったことにより、シュリーマン賞をいただきました。ポルトガル語では初とのことで、大変光栄に思っています。ポルトガル語の勉強を始めたきっかけは、ラテンアメリカ研究会に入ってブラジルという国に興味を抱いたからです。ブラジルは経済格差や治安問題などがある一方で、サンバのような明るい文化がある国。実際に行って、民族性に触れてみたいと思ったのです。1年生のときは独学で勉強し、2年生からポルトガル語の

授業を履修し、ブラジル人留学生とも積極的に会話を交わしました。語順や発音などが日本語とは全く違うので難しい言語ですが、あまり苦にならずむしろ英語よりも楽しく、自分に合っていたようです。留学中は大学だけでなく、語学学校にも通ってひたすら勉強。半年後には日常会話が支障なくできるようになりました。明るくて温かいブラジルの人々が大好きなので、就活はブラジルに進出しているメーカーを中心に、希望の会社に内定。いつかブラジルに赴任し、日本の製品や技術を現地の人たちに役立ててもらえる仕事ができればと思っています。

# 学生の活躍 Student Activity

## 駅伝部

## 駅伝部のムソニ・マイル選手が全日本大学駅伝対校選手権大会で力走 Ekiden team member Muthoni Muiru gives his all at National Collegiate Ekiden Championship



経済学部2年のムソニ・マイル選手(ケニア出身)

秩父宮賜杯第49回全日本大学駅伝対校選手権大会が11月5日に、名古屋市の熱田神宮から三重・伊勢市の伊勢神宮までの8区間106.8キロで行われ、陸上競技部駅伝部のムソニ・マイル選手(経済学部2年)が出場しました。全日本大学選抜として1区(14.6キロ)を走ったマイル選手は、序盤から積極的な走りを見せ、5キロ過ぎからトップに立ち先

頭集団を牽引。最後まで粘りの走りで区間記録43分35秒、トップと11秒差の5位と健闘しました。マイル選手は「力強い応援、本当にありがとうございました。支えてくださる皆さんへの感謝の思いを込めて走りました。この経験を生かし、来年は創価大学駅伝部のチームとしての出場を目指します」と述べました。

## 硬式野球部

## 硬式野球部が「第48回記念 明治神宮野球大会」でベスト8に入る健闘 Team fights hard to make it to the 48<sup>th</sup> Meiji Jingu Baseball Tournament



第48回記念 明治神宮野球大会 準々決勝

11月10日から開かれた全国野球大会である「第48回記念 明治神宮野球大会」に硬式野球部が3年ぶり、10回目となる出場を果たし、ベスト8に入る健闘を見せました。初戦は先発の杉山晃基投手(法学部2年)が最速150キロを記録するなど直球を主体に粘りのピッチングを展開。5回表に先制点を許すも、その裏に創大が反撃し、9番・松本丈志郎選手(経営学部3年)が決

勝点の適時打を打ち勝利しました。11月12日の準々決勝は星槎道都大学と対戦。杉山投手が2戦連続で先発し、ランナーを背負った場面でも、コントロール重視の丁寧な投球を見せ、5回まで0-0の投手戦を繰り広げました。6回表に先制点を許し、その後の代打・西田和生選手(法学部4年)がチャンスを作りましたが惜しくも0-1で惜敗し、ベスト8となりました。

## 柔道部

## 柔道部の代表が全国大会に出場 Judo team representative competes at national tournament



最前列中央が熊谷選手、その左隣が岩佐選手

平成29年度全日本学生柔道体重別選手権大会が9月30日・10月1日の両日、日本武道館で開催され、予選会を勝ち抜いた柔道部の熊谷勇飛選手(法学部3年)と岩佐遥選手(文学部4年)が出場しました。強豪選手が集った今大会で、男子90kg級に出場した熊谷選手が全国ベスト32、女子78kg超級に出場した岩佐選手が全国ベスト16と健闘しました。

出場した両選手は、「たくさんの応援ありがとうございました。今回の負けは強くなるための糧だととらえ、さらなる努力をしていきます」(熊谷選手)、「今回の全国大会では、たくさんの方々の応援と励みで、全力で戦うことができました。悔しい結果ではありますが、必ず次の勝利に繋がっていきます」(岩佐選手)と述べました。

「第57回日本学生経済ゼミナール関東部会（インナー大会）」で  
経済学部の西浦昭雄ゼミが最優秀賞 など

Professor Nishiura's seminar class wins top prize at "57th Japan Student Economics Seminar Kanto Subcommittee Meeting" (Inner Competition) etc.



最優秀賞に輝いた「チームRe♡BBON」のメンバー

11月18日に、関東最大の学生発表会である「第57回日本学生経済ゼミナール関東部会（インナー大会）」（主催：日本学生経済ゼミナール関東部会、協力：日経ビジネス）の本選が東京・国分寺市の東京経済大学で行われました。予選会を勝ち抜いた12チームによる本選が行われ、経済学部の西浦昭雄ゼミの「チームRe♡BBON」が最優秀賞（第1位）に輝きました。「チームRe♡BBON」は、「自ら健康を管理する検診当たり前社会を目指して」のテーマで、若い世代における子宮頸がんの発生数が増える背景に、知識不足や当事者意識の欠如がある点に着目。NPO団体や他大学と連携し、啓発セミナーを開催してきた点や参加者の声などを報告しました。リーダーを務めた山岸将志さん（経済学部4年）は、「今後も他大学や行政、NPO団体と連携をとりながら、社会課題の解決に少しでも貢献できるよう啓発活動等に励んでまいります」と述べました。また、12月3日に開催された「平成29年度社会人基礎力グランプリ関東地区予選大会」（主催：社会人基礎力協議会、共催：経済産業省、後援：公益社団法人経済同友会、日本商工会議所など）において、

「チームRe♡BBON」は同テーマで発表し、準優秀賞に輝きました。さらに、12月9日、10日に、八王子学園都市センターで開催された「第9回大学コンソーシアム八王子学生発表会」（主催：大学コンソーシアム八王子、後援：八王子市教育委員会）において、八王子市長に直接提案する「学生が八王子市長へ直接提案！～最終選考会～」では、西浦ゼミ子ども班が最優秀賞（第1位）に輝きました。西浦ゼミ子ども班は、「みんなで見守る外国人児童 in Hachioji～地域一体の学習連絡帳の普及を目指して～」と題して、市内の外国人児童を取り巻く教育課題に着目。市内の複数の日本語支援団体でボランティアを行ってきた経験をもとに、学校・支援団体・家庭が三者一体で外国人児童を見守りサポートする一環として「学習連絡帳」の導入と活用方法を提案しました。リーダーの齊藤輝之さん（経済学部4年）は、「市長の前で発表する機会をいただき、貴重な経験となりました。今回の提案が市内の外国人児童の学習サポートの一助になれば嬉しく思います。今後も地域のために何ができるか考え行動したいと思います」と述べました。

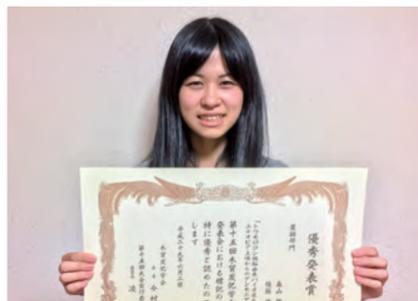
大学コンソーシアム八王子学生発表会

主催：大学コンソーシアム八王子 後援：八王子市教育委員会



第9回大学コンソーシアム八王子学生発表会授賞式の様子

工学研究科の学生が「第15回木質炭化学会」で優秀発表賞（奨励部門）を受賞  
Student from Graduate School of Engineering wins Best Presentation Award (Incentive Prize) at the "15th Wood Carbonization Research Society meeting"



「優秀発表賞」の賞状と共に

九州大学で開催された「第15回木質炭化学会」の研究発表会（6月1日～2日）にて、工学研究科環境共生工学専攻・博士前期課程の森山侑紀さんが優秀発表賞を受賞しました。「トウモロコシ穂軸由来バイオ炭を使ったエチオピア土壌からのアンモニア揮散の抑制」とのタイトルで、バイオマス資源の一つとしてのバイオ炭（有機物炭化物）を土壌と混和することで、土壌から

のアンモニア揮散の抑制に効果があったことを発表しました。森山さんは「指導教員の佐藤先生をはじめ、大学の仲間を支えられてこのような賞を獲得することができ、本当に感謝しております。本研究発表会では様々な方から意見やアドバイスをいただくことができました。この経験を糧に、今後も研究活動に励んでまいります」と述べました。

「ユヌス&ユースソーシャルビジネスデザインコンテスト2017」  
学生部門で経営学部の安田賢憲ゼミが優勝 など

Faculty of Business Administration professor Yoshinori Yasuda's seminar class wins first prize in student division at the "2017 Yunus & Youth Social Business Design Contest" etc.



「ユヌス&ユースソーシャルビジネスデザインコンテスト2017」で優勝したTeam ACTのメンバー



平成29年度社会人基礎力育成グランプリ関東地区予選大会で優秀賞を受賞したチームmogmogのメンバー

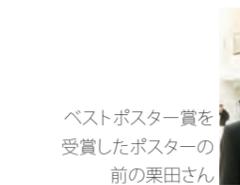
九州大学ユヌス&椎木ソーシャルビジネス研究センターが主催する「ユヌス&ユースソーシャルビジネスデザインコンテスト2017」の本選が、10月21日に開かれ、経営学部の安田賢憲ゼミのTeam ACTが学生部門で優勝しました。Team ACTは、高齢化社会に伴い、認知症患者が増加するとともに認知症に関する社会的な影響が増大する点に着目。その影響を減らすために、認知症予防に多くの人が取り組むことが必要だと考え、認知症予防アプリ開発の事業計画を発表。審査員からは、「社会性の高い提案であり、ぜひ実現してもらいたい」との声が寄せられました。リーダーの齋藤彩音さん（経営学部3年）は、「今回の優勝を通過点とし、認知症予防アプリの開発を具体的に進めるため、これからもチーム一丸となって事業に取り組みます」と述べました。また、同チームは、12月16日昭和記念公園みどり文化センターにて開催された、公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩主催「第4回多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション2017」の本選に

も出場。10大学24チームが参加した予選を突破した6チームが出場した本選で、見事、最優秀賞に輝きました。続いて、安田ゼミのチームmogmogが12月3日に開催された、社会人基礎力協議会が主催する平成29年度社会人基礎力育成グランプリ関東地区予選大会にて優秀賞を受賞しました。チームmogmogは、シニアの方々に生きがいを持って過ごしてほしいとの思いから、地域に繋がりを作れていないモラトリアムシニアに着目。彼らを地域のシニアサークルなどに繋げるイベントを開催し、その取り組みを報告しました。審査員からは、「高齢者の孤立化という問題は重要な社会課題であり、その課題の改善に挑戦している点を大きく評価したい」等の声が寄せられました。チームmogmogリーダーの飯田正美さん（経営学部3年）は、「周りの方々に支えられ、チーム全員で課題を乗り越えられたからこそ得られた結果だと思います。全国大会でも感謝の気持ちを忘れず、最高のパフォーマンスで勝利していきます」と述べました。

工学研究科の学生が国際学会でベストポスター賞を受賞  
Student from Graduate School of Engineering wins Best Poster Prize at international conference



ベストポスター賞を受賞したイウェンドゥビシ サミュエルさん



ベストポスター賞を受賞したポスターの前の栗田さん

9月11日からマレーシア・クアラルンプールで開催されたアジア・太平洋地域の水環境に関する会議「IWA-ASPIRE Conference 2017」にて、工学研究科修士2年のIweh Ndubisi Samuel（イウェンドゥビシ サミュエル）さん（ナイジェリアからの留学生）がベストポスター賞を受賞しました。イウェさんは、「今後も、本学、本研究室のメンバーから多くの受賞者が出ることを念願し、さらに研究に力を入れていきます」と述べました。

9月22日から10月1日にロシア・ウラジオストクの極東連邦大学で開催された北太平洋海洋科学機構（通称PICES）の国際会議「PICES-2017 Annual Meeting」にて、工学研究科修士2年の栗田陸矢さんがベストポスター賞を受賞しました。栗田さんは、「今回の受賞は多くの方々に協力していただいた結果の賜物です。今回の受賞を励みに、より一層精進してまいります」と述べました。

## 第47回創大祭、第33回白鳥祭を開催

47th Soka Festival and 33rd Swan Festival held

10月7日、第47回創大祭、第33回白鳥祭の開幕を告げる「創価栄光の集い」が池田記念講堂で開催され、ソウル大学元総長の李寿成(イ・スソン)元首相が講演しました。第1部では、各団体の演技で大いに盛り上がり、各国の留学生の代表が日本語で未来への決意を語りました。最後に、学生有志とヴォーカルグループの合唱に続き、全参加者が一体となって学生歌を合唱しました。第2部の記念式典では、石川恵子短大学長の挨拶に続き、田代康則理事長が創立者池田大作先生からのメッセージを紹介しました。続いて李博士の記念講演となり、博士は学生のパフォーマンスを称賛し、創立者との出会いを懐かしく振り返りながら、「一国の将来を知るためにはその国の大学を見よという言葉があります。知性と学問の殿堂である大学が立ち上がり、美しい教育の伝統と共同体の倫理意識が国民の日常生活に定着されたとき、真の先進社会に進むことができます。それこそまさに正しい社会の流れです。皆さんは創価大学が追求する理念の通り、自他共の幸福のために、社会の繁栄と世界平和を成し遂げる光になっていただきたいのです」と語り、式典は幕を閉じました。翌8日より第47回創大祭、第33回白鳥祭の一般公開が始まり、多くの来場者が展示や模擬店を楽しみました。



第47回創大祭、第33回白鳥祭が華やかに開催されました

## 全学生・教職員で「全学総合防災訓練」を実施

Students, staff and faculty take part in university-wide disaster emergency response drill

隔年で開催している全学生・教職員対象の「全学総合防災訓練」を、10月26日に実施しました。午前11時50分、緊急地震速報の訓練報が発信され、「八王子市内を中心に震度6弱の地震が発生しました」との日本語と英語による校内アナウンスと共に防災訓練を開始しました。学生は教室等の机の下にもぐるなど身の安全を確保し、その後、教職員等の誘導に従って学内で定められた4箇所の避難エリアに移動しました。今回の訓練は、八王子消防署本署および小宮出張所の全面的な協力のもと実施し、キャンパスにいた約5,000名の学生・教職員が参加しました。今回の防災訓練は、大規模地震発生時の初動対応をシミュレーションし、自己防衛、避難誘導、通報連絡、初期消火、情報収集、安否確認、避難状況の点検・報告・集計までを訓練しました。怪我人発生も想定し、建物に設置されている階段避難車(イーバックチェア)などを使用して怪我人の避難介助の訓練も行いました。



全学生・全教職員が真剣に防災訓練に臨みました

## 第20回菊花展を開催

20th Chrysanthemum Show held

11月3日から11月5日まで、本学正門前で第20回「菊花展示会」が開催されました。今年で20回目を迎えたこの菊花展示会は、地元・加住菊友会のメンバーらが1年間にわたって丹精を込めて育て上げた盆栽、懸崖、福助など約60鉢の菊が展示されました。菊友会の方からは「今年で20回の節目を迎えることができ嬉しく思います。年に1度の展示会を目指し、菊の根を張る作業から始め、天候や気温一つひとつに気を配りながら守り育ててきました。この展示会を通して日本の良さを感じるひと時になれば幸いです」と語りました。

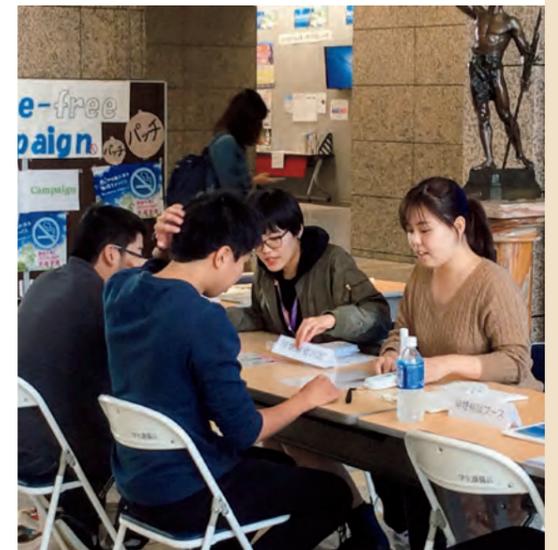
今年も美しい菊花が並び、学生や教職員、来訪者の目を楽しませてくれました



## 卒煙キャンペーンを開催

Quit Smoking campaign begins

10月13日、18日の2日にわたり、中央教育棟1Fロビーにて卒煙キャンペーンを実施しました。本キャンペーンは、学生の有志と教職員で構成されるキャンパス美化健康推進委員会が主催するものです。今回の卒煙キャンペーンは保健センターの協力により、「呼気一酸化炭素(CO)濃度測定」やニコチンパッチやニコチンガムの「卒煙グッズの展示」の他、喫煙の健康被害など意識啓発を促す展示等が行われ、昼休みと放課後に通行する学生・教職員にキャンペーンの参加を呼びかけました。キャンパス美化健康推進委員会として運営に携わった男子学生は、「呼気一酸化炭素(CO)濃度測定のコーナーには列ができるほど、多くの方に関心をもっていただくことができました。今後も煙草の健康被害を身近に感じてもらえるような取り組みを検討したいと思います」と述べました。本学では、2013年4月より、全学生・教職員の健康増進を目的に構内全面禁煙がスタートしました。構内全面禁煙化以降、構内の喫煙所の撤去、ニコチンパッチの無料配布や看護師の指導による卒煙相談等に取り組んできた結果、学生(大学院生・短大生含む)の喫煙率は、2009年度の9.1%から2017年度には4.4%まで減少しています。



着々と成果を上げている卒煙キャンペーン

## 山形県山形市で「勇気の証言—ホロコースト展 アンネ・フランクと杉原千畝の選択」を開催

Exhibition opens in Yamagata City, Yamagata Prefecture - The Courage to Remember: The Holocaust 1939-1945. The Bravery of Anne Frank and Chiune Sugihara

ナチス・ドイツのユダヤ人大量虐殺の歴史を振り返り、平和と人権について考える「勇気の証言—ホロコースト展 アンネ・フランクと杉原千畝の選択」の山形展を11月22日から11月26日の5日間、山形県山形市の山形ビッグウイングで開催しました。この展示会は、1994年から2007年に全国73会場を巡回した「勇気の証言—アンネ・フランクとホロコースト展」に続くもので、本学と国際的な人権団体「サイモン・ウィーゼンター・センター」の共催によるものです。一昨年10月に東京芸術劇場(東京都豊島区)をスタートして各地を巡回し、山形展で11会場目となります。11月22日に行われたオープニングには約100名が出席しました。初めに、実行委員会を代表して本学の田代康則理事長が挨拶し、続いて来賓の佐藤孝弘山形市長が「20世紀という激動の時代の歴史的事実を語り継いでいく必要があります。その時代を生きた二人の人生を通して、ホロコーストを知り、平和や人権について考える貴重な機会になればと思います」と語りました。



多くの人々が訪れ、人権への思いを新たにしました

# 2017年度後期待生

2017 Performance-Based Scholarships

この度、学生部委員会・学部教授会にて審議決定された2017年度後期待生が発表されました。  
 期待生とは、セメスター（前期／後期）ごとに学業成績が優秀である学生を表彰する制度で、  
 対象者には奨励金15万円が給付されます。

経済学部経済学科 山本 広明 Hiroaki Yamamoto	経済学部経済学科 鮫島 基継 Mototsugu Sameshima	経済学部経済学科 松井 美樹 Miki Matsui	経済学部経済学科 豊田 康子 Yasuko Toyoda
経済学部経済学科 本田 直樹 Naoki Honda	経済学部経済学科 丸山 正人 Masato Maruyama	経済学部経済学科 南 優人 Yuto Minami	経済学部経済学科 川上 智美 Tomomi Kawakami
経済学部経済学科 布川 裕一 Yuichi Nunokawa	経済学部経済学科 青山 裕二 Yuji Aoyama	経済学部経済学科 前園 美穂 Miho Maezono	経済学部経済学科 谷 梅花 Umeka Tani
経営学部経営学科 隋 氷潔 Bingjie Sui	経営学部経営学科 高 潤淇 Runqi Gao	経営学部経営学科 篠原 和久 Kazuhisa Shinohara	経営学部経営学科 重田 健一 Ken'ichi Shigeta
経営学部経営学科 塩田 秀明 Hideaki Shioda	経営学部経営学科 堀内 百花 Momoka Horiuchi	経営学部経営学科 藤森 叶子 Kanako Fujimori	経営学部経営学科 滝沢 啓恵 Hiroe Takizawa
経営学部経営学科 新井 修也 Shuya Arai	経営学部経営学科 山中 幸一 Koichi Yamanaka	経営学部経営学科 石井 勇祐 Yusuke Ishii	経営学部経営学科 奥野 賢一 Ken'ichi Okuno
経営学部経営学科 高山 優果 Yuka Takayama	経営学部経営学科 西海 藍 Ran Saikai	経営学部経営学科 谷 清 Kiyoshi Tani	経営学部経営学科 吉岡 莉帆 Riho Yoshioka
経営学部経営学科 藤井 世名 Sena Fujii	法学部法律学科 笠井 康平 Kohei Kasai	法学部法律学科 八尋 朱音 Akane Yahiro	法学部法律学科 田村 一浩 Kazuhiro Tamura
法学部法律学科 小林 慧 Satoru Kobayashi	法学部法律学科 池田 湧来 Yuki Ikeda	法学部法律学科 竹内 妃奈 Hina Takeuchi	法学部法律学科 吉田 正樹 Masaki Yoshida
法学部法律学科 極山 大樹 Daiki Kiyayama	法学部法律学科 大山 正幸 Masayuki Oyama	法学部法律学科 浜田 光一 Koichi Hamada	法学部法律学科 宮本 直美 Naomi Miyamoto
法学部法律学科 広実 ひかり Hikari Hirozane	法学部法律学科 井上 音々 Nene Inoue	法学部法律学科 丸岡 美幸 Miyuki Maruoka	法学部法律学科 松永 啓明 Hiroaki Matsunaga
法学部法律学科 増沢 俊一 Shun'ichi Masuzawa	法学部法律学科 中 萌花 Moeka Naka	法学部法律学科 青地 未歩 Miho Aochi	法学部法律学科 中村 英明 Hideaki Nakamura
文学部人間学科 清田 俊介 Shunsuke Kiyota	文学部人間学科 丹尾 美咲 Misaki Nio	文学部人間学科 中後 幸恵 Sachie Chugo	文学部人間学科 桂 友希 Yuki Katsura
文学部人間学科 松村 直樹 Naoki Matsumura	文学部人間学科 江田 あかり Akari Eda	文学部人間学科 鉢呂 恵理香 Erika Hachiro	文学部人間学科 薄田 みなみ Minami Usuda
文学部人間学科 飯島 瑛里 Eri Iijima	文学部人間学科 高橋 ひかり Hikari Takahashi	文学部人間学科 岩井 舞希 Maki Iwai	文学部人間学科 玉川 直美 Naomi Tamagawa
文学部人間学科 小山 ゆき Yuki Koyama	文学部人間学科 中後 弘美 Hiromi Chugo	文学部人間学科 河原 静里奈 Serina Kawahara	文学部人間学科 西坂 美幸 Miyuki Nishizaka
文学部人間学科 野口 良美 Yoshimi Noguchi	文学部人間学科 桜井 和美 Kazumi Sakurai	文学部人間学科 松田 裕貴 Yuki Matsuda	文学部人間学科 久米 直子 Naoko Kume
文学部人間学科 大谷 博志 Hiroshi Otani	文学部人間学科 岩本 奈保美 Naomi Iwamoto	文学部人間学科 関根 みなみ Minami Sekine	教育学部教育学科 小嶋 貴子 Takako Kojima
教育学部教育学科 平川 夢乃 Yumeno Hirakawa	教育学部教育学科 熊谷 きとえ Kitoe Kumagai	教育学部教育学科 根本 莉奈 Rina Nemoto	教育学部教育学科 志鶴 峰花 Mineka Shizuru
教育学部教育学科 大城 朝周 Tomochika Oshiro	教育学部児童教育学科 遠藤 葵 Aoi Endo	教育学部児童教育学科 坪倉 早紀 Saki Tsubokura	教育学部児童教育学科 山崎 優香 Yuka Yamasaki
教育学部児童教育学科 矢口 直美 Naomi Yaguchi	教育学部児童教育学科 木城 七海 Nanami Kishiro	教育学部児童教育学科 渡部 聡美 Satomi Watanabe	理工学部情報システム工学科 井門 史貴 Fumitaka Imon
理工学部情報システム工学科 黒木 誠 Makoto Kuroki	理工学部情報システム工学科 高井 光一 Koichi Takai	理工学部情報システム工学科 大野木 文弥 Fumiya Onogi	理工学部情報システム工学科 竹内 大瑛 Hiroaki Takeuchi
理工学部情報システム工学科 林 光太郎 Kotaro Hayashi	理工学部共生創造理工学科 田中 健児 Kenji Tanaka	理工学部共生創造理工学科 宮林 裕香 Hiroka Miyabayashi	理工学部共生創造理工学科 宮林 朋香 Tomoka Miyabayashi
理工学部共生創造理工学科 金田 明日香 Asuka Kaneda	理工学部共生創造理工学科 成田 唯人 Yuito Narita	理工学部共生創造理工学科 近藤 菜々子 Nanako Kondo	看護学部看護学科 松本 奈桜 Nao Matsumoto
看護学部看護学科 上田 美保 Miho Ueda	看護学部看護学科 安食 奈南 Nanami Anjiki	看護学部看護学科 仁尾 咲良 Sakura Nio	看護学部看護学科 高橋 美有 Miyu Takahashi
看護学部看護学科 広島 法子 Noriko Hiroshima	国際教養学部国際教養学科 松本 健太 Kenta Matsumoto	国際教養学部国際教養学科 飯田 泰弘 Yasuhiro Iida	国際教養学部国際教養学科 角尾 十和 Towa Kakuo
国際教養学部国際教養学科 芦田 咲希 Saki Ashida	国際教養学部国際教養学科 イスルギ Seulgi Lee		

## 通信教育部 2018年度入学生募集中!

●出願期間

12月1日～3月23日 (正科課程)

12月1日～4月24日 (科目等履修)

### 待望の文学部人間学科開設!

『教員が語る文学部の魅力』を右のQRコードからご覧になれます。



### ●4学部5学科体制で新出発

この度、既存の経済学部、法学部、教育学部(教育学科・児童教育学科)に加え、新たに文学部人間学科が加わり、通信教育部が大きく生まれ変わります。

### ●全国で入学説明会を実施

出願期間中、全国で入学説明会を開催しています。  
 詳細は、通信教育部ホームページ・新聞広告よりご確認ください。



はじめよう 創大通教。みつけよう 新しい自分。

## 健康を 科学する 第11回 インフルエンザ対策

看護学部  
鈴木 恵子教授  
専門分野/基礎看護学



毎年この時期に大流行するインフルエンザ。  
 日常のちょっとした心掛けて、感染を未然に防ぐことができます!

### 流行シーズンの到来!

インフルエンザは、年々早く流行し始める傾向にあり、昨シーズンは11月25日に厚生労働省が「流行シーズン」と宣言しました。今年のワクチンはインフルエンザA(H1N1)亜型、A/H3N2亜型(A香港型)、B型(山形系統)、B型(ビクトリア系統)の4種類が含まれた、いわゆる4価ワクチンです。効果が出るまでに接種後2週間かかるので、12月から3月の流行シーズンに効果が期待できるように接種してください。A型、B型が時期をずらして流行する可能性があります、どちらにも対応できるようにする必要があります。

### 生活の中でできるインフルエンザ予防

ワクチン接種と同様に、日々の生活の中での予防も重要です。①ウイルスの体内への侵入を防ぐ ②侵入しても負けない免疫力を持つ、の2つです。インフルエンザの感染経路は飛沫感染と接触感染で、侵入を防ぐには、マスク・うがい・手洗いが重要です。咳やくしゃみは1～

2メートル先まで飛沫となって飛ぶので、普段からマスクを持ち歩き、人の多い所では着用してください。その際、口と鼻をしっかりと覆い、顔にフィットさせます。帰宅後はうがいと手洗いをし、1時間に1回は窓を開けて部屋の換気をしましょう。

### 体の冷えに要注意!

ウイルスに負けない免疫力のためには、1日6～7時間の睡眠とバランスの良い食事、そして、身体の冷えを防ぎ、体温を高めに維持することをお勧めします。電車やバス等の暖房の強い場所で汗をかき、そのまま寒い所に出て身体が冷えた経験がありませんか。一瞬、気持ちが良いとしても、身体は確実に冷えてしまいます。汗を拭いて防寒してから寒い所に出てください。また、身体を冷やさないために“3つの首(首・手首・足首)”を暖めてください。外出時や自宅でくつろぐときも、この3箇所の保温を意識してください。スカーフやレッグウォーマー等が良いと思います。さあ、インフルエンザに負けずに、この冬を楽しく有意義に過ごしましょう。

# 2018年度 入学試験日程

## 創価大学

	出願期間 (郵送 締切日消印有効)	試験日	合格発表
大学入試 センター試験利用入試 (前期3科目方式) ※1	2017年12月20日(水)~2018年1月19日(金)	2018年1月13日(土)・14日(日)に 実施される大学入試センター試験を受験すること (本学独自の試験は課さない)	2018年2月14日(水)
大学入試 センター試験利用入試 (前期4科目方式)			
全学統一入試(3科目方式・2科目方式) ※2	2017年12月20日(水)~2018年1月19日(金)	2018年2月3日(土)	2018年2月14日(水)
一般入試	2017年12月20日(水)~2018年1月19日(金)	経済・法・教育学部 2018年2月7日(水)	2018年2月17日(土)
		経営・文・国際教養学部 2018年2月8日(木)	
		理工・看護学部 2018年2月9日(金)	
大学入試センター試験利用入試 (後期3科目方式) ※1	2018年2月22日(木)~3月2日(金)	2018年1月13日(土)・14日(日) ※大学入試センター試験を受験	2018年3月12日(月)

※1…看護学部は実施しない ※2…看護学部・国際教養学部は、3科目方式のみ

### 創価大学 一般入試試験場一覧

★東 京 創価大学	八王子市丹木町1-236
★札 幌 TKP札幌ビジネスセンター	札幌市中央区北四条西6-1
★仙 台 TKP仙台西口ビジネスセンター	仙台市青葉区本町1-5-31
松 戸 明生情報ビジネス専門学校3号館	松戸市新松戸1-130
さいたま JA共済埼玉ビル	さいたま市大宮区土手町1-2
新 潟 新潟公務員法律専門学校	新潟市中央区弁天2-4-21
静 岡 静岡商工会議所会館	静岡市葵区黒金町20-8

★名古屋 名古屋プライムセントラルタワー	名古屋市西区名駅2-27-8
★大 阪 天満研修センター	大阪市北区錦町2-21
広 島 広島国際会議場	広島市中区中島町1-5
高 松 サンポートホール高松	高松市サンポート2-1
★福 岡 リファレンス駅東ビル	福岡市博多区博多駅東1-16-14
★那 覇 那覇尚学院(別館)	那覇市泊2-17-4

★全学統一入試も同じ会場で行います。

## 創価女子短期大学

	出願期間	試験日	合格発表
一般入試	2018年1月4日(木)~1月22日(月)	2018年2月4日(日)	2018年2月13日(火)

### 創価女子短期大学 一般入試会場一覧

東 京 創価女子短期大学	八王子市丹木町1-236
札 幌 TKP札幌ビジネスセンター	札幌市中央区北四条西6-1
仙 台 TKP仙台西口ビジネスセンター	仙台市青葉区本町1-5-31
名古屋 名古屋プライムセントラルタワー	名古屋市西区名駅2-27-8

大 阪 天満研修センター	大阪市北区錦町2-21
福 岡 リファレンス駅東ビル	福岡市博多区博多駅東1-16-14
那 覇 那覇尚学院(別館)	那覇市泊2-17-4

## 配布中 願書(入試要項)

創価大学、創価女子短期大学の願書(入試要項)をご請求いただけます。ホームページからご請求ください。資料請求いただいてから到着まで3日程度かかります。お急ぎの方は、創価大学アドミッションズセンター(042-691-4617)へお問い合わせください。



資料請求用QRコード



## オープンキャンパス 2018

開催時間 / 10:00~16:00

3/21(水・祝) 5/3(木・祝)・4(金・祝)

7/28(土)・29(日) 8/11(土・祝)

2019 3/21(木・祝)

創価大学、創価女子短期大学を  
体験しませんか? お待ちしています!

## ネット出願

創価大学 ネット出願  
で検索

入試ごとに検定料を  
**3,000円割引!**  
全学統一(3・2科目)、  
大学入試センター利用入試(前期3・4科目)、  
一般入試、大学入試センター利用入試(後期3科目)の  
すべてをネット出願で行うと、  
**合計12,000円割引!**

### <創友会の皆様へ> 勤務先カードご提出のお願い

本学後輩のために、勤務先カードの記入・提出のご協力をお願いいたします。ご提出いただいたカードは、就活生のOBOG訪問などに使用させていただきます。

詳しくはこちら!  
キャリアセンターHP  
URL [http://career.soka.ac.jp/shien\\_card.html](http://career.soka.ac.jp/shien_card.html)

## 編集部 からの お知らせ

編集部では、読者の皆様の声を募集しています。これからも、充実した魅力ある誌面づくりに努めてまいりますので、何卒よろしくお願いたします。

FAX: 042-691-9300 E-mail: sun@soka.ac.jp

